

令和5年度 林業普及週間現地情報 (12/11～12/17)

森林管理課

製材技術講習会の実施

12月17日 (日)

令和5年12月17日(日)にトマイ木工所において戸眞伊氏を講師とした製材技術講習会を開催し、一般参加者や関係者を含め20名余りが参加した。

八重山では、製材業の従事者が高齢化しており、次世代への技術の継承が課題となっている。このことから、八重山農林水産振興センターでは、地元木工事業者、森林組合等の協力のもと、製材技術をはじめとした、森林の利活用に関する様々な知見を次世代への継承する事業を行うこととなった。

今回は上記事業の第一回目の講習会ということで、実際に製材の流れを見学し、製材の注意点や工夫、材の利活用や乾燥方法等の様々な知見を学んだ。講師の戸眞伊氏からは、森林を昔のように活用されなくなってきて、木々の老齢化が進み健全な種が出来なくなってきている、木材として森林を利活用し植栽をする一連のサイクルを循環させることで、健全な森林を守ることに繋がるなど、森林の利活用の意義についての話があった。参加者からは、製材を行う際のトラブルへの対処法などの具体的な質問や、八重山の森林の利活用に向けた木材の利用方法等の質問が数多くあがった。

今後は、林内での現地講習会や木炭作り、植林体験を実施し、八重山の森林資源活用に向けた知見を広く普及していく。



講習会の様子

(報告者：八重山農林水産振興センター 小菅)